

SWX設定ツール

ヤマハスマートL2スイッチ 設定ソフトウェア

取扱説明書

お使いになる前に本書をよくお読みにになり、正しく設置や設定を行ってください。

本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。

本書はなくさないように、大切に保管してください。

はじめに

SWX設定ツールは、ヤマハスマートL2スイッチSWX2200シリーズの設定や状態をパソコンから直接変更・確認できるソフトウェアです。

本書の内容について

- 本書では、SWX設定ツールのインストール手順と使用方法について説明します。
- 本書の内容は、使用しているオペレーティングシステム (Windows) とネットワーク通信の基礎を理解していることを前提にしています。

本書の表記について

略称について

本書ではそれぞれの製品について、以下のように略称で記載しています。

- Yamaha SWX設定ツール：本製品
- Yamaha SWX2200-8GまたはSWX2200-24G：SWX2200シリーズ
- Microsoft® Windows®：Windows
- Microsoft® Windows® 7：Windows 7

商標について

本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標あるいは商標です。

本製品は、国際著作権法によって保護されています。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容および本製品の仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損失については、当社では責任を負いかねます。予めご了承ください。

目次

はじめに	2
ソフトウェアライセンス契約	4
ヤマハ PC アプリケーションソフトウェア 使用許諾契約書	4
サポート規定	6
本製品の特徴	8
本製品をインストールする	9
インストールに必要なシステム環境	9
インストールする	10
本製品を削除する場合は (アンインストール)	12
SWX2200 に接続する	13
SWX2200 の設定を変更する	14
本製品でできること	14
基本的な操作	14
ポートのリンク速度を変更する	15
使用しないポートをシャットダウンする	16
任意のポートのパケットをキャプチャする (ポートミラーリング)	16
ネットワークのセグメントを分割する (VLAN)	17
ループ検出時の動作を設定する	19
外部ファイルを読み込んでスイッチの設定を変更する	19
スイッチを初期化する	20

ソフトウェアライセンス契約

ヤマハ PCアプリケーションソフトウェア 使用許諾契約書

本契約は、お客様とヤマハ株式会社(以下、ヤマハといいます)との間の契約であって、PCアプリケーションソフトウェアおよびこれに関わるプログラム、印刷物、電子ファイル(以下「本ソフトウェア」といいます)をヤマハがお客様に提供するにあたっての条件を規定するものです。

「本ソフトウェア」は、パーソナルコンピュータ等のデバイスで動作させる目的においてのみ使用することができます。本契約は、ヤマハがお客様に提供した「本ソフトウェア」および本契約第1条第(1)項の定めに従ってお客様が作成した「本ソフトウェア」の複製物に適用されます。

1. 使用許諾

- (1) お客様は、「本ソフトウェア」を使用して対象となるヤマハ通信機器に接続するパーソナルコンピュータ等のデバイスにインストールして使用することができます。
- (2) お客様は、本契約に明示的に定められる場合を除き、「本ソフトウェア」を、再使用許諾、販売、頒布、賃貸、リース、貸与もしくは譲渡し、特定もしくは不特定多数の者によるアクセスが可能なウェブ・サイトもしくはサーバー等にアップロードし、または、複製、翻訳、翻案もしくは他のプログラム言語に書き換えてはなりません。お客様はまた、「本ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リパース・エンジニアリング等してはならず、また第三者にこのような行為をさせてはなりません。
- (3) お客様は、「本ソフトウェア」に含まれるヤマハの著作権表示を変更、除去、または削除してはなりません。
- (4) 本契約に明示的に定める場合を除き、ヤマハは、「本ソフトウェア」に関するヤマハの知的財産権のいかなる権利もお客様に付与または許諾するものではありません。
- (5) お客様は、1条1項の目的に限り、お客様が管理する特定の者に対する頒布のため、アクセス制限がなされたウェブ・サイトやサーバー等へ本ソフトウェアをアップロードし、その使用に供することができます。

2. 著作権等の知的財産権

「本ソフトウェア」は、著作権法その他の法律により保護され、ヤマハにより所有されています。お客様は、ヤマハが、本契約に基づきまたはその他の手段により「本ソフトウェア」に係る知的財産権その他権利をお客様に譲渡するものではないことを、ここに同意するものとします。

3. 輸出規制

お客様は、当該国のすべての適用可能な輸出管理法規や規則に従うものとし、また、かかる法規や規則に違反して「本ソフトウェア」の全部または一部を、いかなる国へ直接もしくは間接に輸出もしくは再輸出してはなりません。

4. サポートおよびアップデート

ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」のメンテナンスおよびお客様による「本ソフトウェア」の使用を支援することについて、いかなる責任も負うものではありません。また、本契約に基づき「本ソフトウェア」に対してアップデート、バグの修正あるいはサポートを行う義務もありません。

5. 責任の制限

- (1) 「本ソフトウェア」は、『現状のまま (AS-IS)』の状態で使用許諾されます。ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」に関して、商品性および特定の目的への適合性の保証を含め、いかなる保証も、明示たると黙示たるとを問わず一切しないものとします。
- (2) ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」の使用または使用不能から生ずるいかなる損害(逸失利益およびその他の派生的または付随的な損害を含むがこれらに限定されない)について、一切責任を負わないものとします。たとえ、ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。
- (3) ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じるいかなる紛争についても、一切責任を負わないものとします。

6. 有効期間

- (1) 本契約は、下記(2)または(3)により終了されるまで有効に存続します。
- (2) お客様は、パーソナルコンピュータ等のデバイスにインストール済みのすべての「本ソフトウェア」を消去することにより、本契約を終了させることができます。
- (3) お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、本契約は直ちに終了します。
- (4) お客様は、上記(3)による本契約の終了後直ちに、パーソナルコンピュータ等のデバイスにインストール済みのすべての「本ソフトウェア」を消去するものとします。
- (5) 本契約のいかなる条項にかかわらず、本契約第3条から第6条の規定は本契約の終了後も効力を有するものとします。

7. 分離可能性

本契約のいかなる条項が無効となった場合でも、本契約のそれ以外の部分は効力を有するものとします。

8. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE :

The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101 (Oct 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.72024 (June 1995), all U.S. Government End Users shall acquire the Software with only those rights set forth herein.

9. 一般条項

お客様は、本契約が本契約に規定されるすべての事項についての、お客様とヤマハとの間の完全かつ唯一の合意の声明であり、口頭あるいは書面による、すべての提案、従前の契約またはその他のお客様とヤマハとのあらゆるコミュニケーションに優先するものであることに同意するものとします。本契約のいかなる修正も、ヤマハが正当に授權した代表者による署名がなければ効力を有しないものとします。

10. 準拠法

- (1) 本契約は、日本国の法令に準拠し、これにもとづいて解釈されるものとします。
- (2) 本ソフトウェアの使用に関連して万一当社とお客様との間で紛争が生じた場合には、東京地方裁判所または東京簡易裁判所を専属的合意管轄裁判所とします。

サポート規定

ヤマハ株式会社はルーターおよび関連製品を快適に、またその性能・機能を最大限に活かしたご利用が可能となりますように以下の内容・条件にてサポートをご提供いたします。

1. サポート方法

- ①FAQ、技術情報、設定例、ソリューション例等のWeb掲載
- ②電話でのご質問への回答
- ③お問い合わせフォームからのご質問への回答
- ④カタログ送付
- ⑤代理店・販売店からの回答

ご質問内容によっては代理店・販売店へご質問内容を案内し、代理店・販売店よりご回答させていただく場合がありますので予めご了承のほどお願い致します。

2. サポート項目

- ①製品仕様について
- ②お客様のご利用環境に適した弊社製品の選定について
- ③簡易なネットワーク構成での利用方法について
- ④お客様作成のconfigの確認、及びlogの解析
- ⑤製品の修理について
- ⑥代理店または販売店のご紹介

3. 免責事項・注意事項

- ①回答内容につきましては正確性を欠くことのないように万全の配慮をもって行いますが、回答内容の保証、及び回答結果に起因して生じるあらゆる事項について弊社は一切の責任を負うことはできません。

また、サポートの結果又は製品をご利用頂いたことによって生じたデータの消失や動作不良等によって発生した経済的損失、その対応のために費やされた時間的・経済的損失、直接的か間接的かを問わず逸失利益等を含む損失及びそれらに付随的な損失等のあらゆる損失について弊社は一切の責任を負うことはできません。

尚、これらの責任に関しては弊社が事前にその可能性を知らされていた場合でも同様です。但し、契約及び法律でその履行義務を定めた内容は、その定めるところを遵守するものと致します。

- ②ソフトウェアの修正は弊社が修正を必要と認めたものについて生産終了後2年間行います。
- ③質問受付対応は生産終了後5年間行います。
- ④実ネットワーク環境での動作保証、性能保証は行っておりません。
- ⑤期日・時間指定のサポート、及び海外での使用、日本語以外でのサポートは行っていません。

- ⑥お問い合わせの回答を行うにあたって、必要な情報のご提供をお願いする場合があります。情報のご提供がない場合は適切なサポートができない場合があります。
- ⑦再現性がない、及び特殊な環境でしか起きない等の事象に関しては、解決のための時間がかかったり適切なサポートが行えない場合があります。
- ⑧オンサイト保守・定期保守等は代理店にて有償にて行います。詳細な内容は代理店にご確認をお願い致します。
- ⑨他社サービス、他社製品、及び他社製品との相互接続に関するサポートは弊社Web上に掲載している範囲に限定されます。
- ⑩やむを得ない事由によりヤマハルーターおよび関連製品の返品・交換が生じた場合は、ご購入店経由となります。尚、交換、返品に際しましてはご購入店、ご購入金額を証明する証憑が必要となります。
- ⑪上記サポート規定は予告なく変更されることがあります。

本製品の特徴

本製品は、ヤマハスマートL2スイッチSWX2200シリーズの設定や状態を、パーソナルコンピュータから直接変更・確認できるソフトウェアです。

状態表示

SWX2200シリーズの機器の状態やポートのリンク状態を表示します。

ポートごとの設定・表示

以下の設定項目について確認や変更ができます。

- 速度
- シャットダウン
- カウンタ
- ストレート/クロス自動判別
- フロー制御
- ポートミラーリング

VLAN

ポートVLANやマルチプルVLAN、タグVLANを設定できます。

省電力機能

SWX2200シリーズの省電力動作を設定できます。

ループ検出

SWX2200シリーズでループを検出した時の動作を設定できます。

操作

SWX2200シリーズを再起動したり工場出荷状態に戻すことができます。

ご注意

本製品はヤマハSWX2200シリーズにのみ接続可能なソフトウェアです。

本製品をインストールする

インストールに必要なシステム環境

本製品は、以下のプラットフォームをサポートしています (すべて日本語版のみ)。

- Windows 7 (32bit/64bit Edition)

ご注意

オペレーティングシステムはクリーンインストールされたもののみを動作対象とします。以前のバージョンからアップデートされたもの、仮想化技術を利用したWindowsの動作環境、Mac PC上での動作は保証できません。

インストール前にご確認ください

インストール前にアンチウィルスソフトウェアやマルウェア対策ソフトウェアの機能を停止してください。本製品のインストール中にWindowsに対して適用する変更を、これらのソフトウェアがブロックしてインストールが正常に完了しない場合があります。

推奨システム環境

本製品を実行するために推奨されるパーソナルコンピュータの最小構成は次のとおりです。

Microsoft Windows 7 日本語版

- プロセッサ：1GHz以上のプロセッサ
- メモリ (RAM)：1GB
- ハードディスク容量：100MBの空きディスク容量
- ネットワーク接続：TCP/IPネットワーク プロトコル

ご注意

本製品をインストールするには、コンピュータのシステムファイルに対する完全なアクセス権が必要です。

本製品をインストールする(つづき)

インストールする

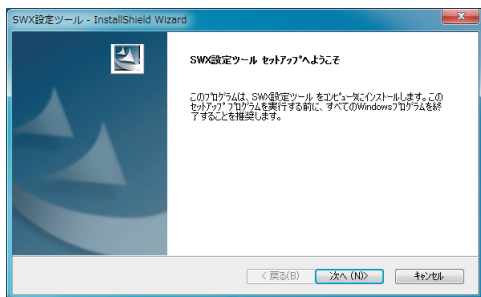
ご注意

- インストールは、利用者のコンピュータの管理者アカウントまたはAdministrator権限のあるユーザで実行してください。
- インストールの前にリリースノートをお読みすることをおすすめいたします。

1 インストーラを起動する。

インストールパッケージ(SWX設定ツール_x86.msi (32bit OS対応版)またはSWX設定ツール_x64.msi (64bit対応版))をコンピュータのローカルディスクに保存してから、インストールパッケージのアイコンをダブルクリックします。

インストーラが起動するとインストールウィザードが表示され、手順に従ってインストールを進めることができます。

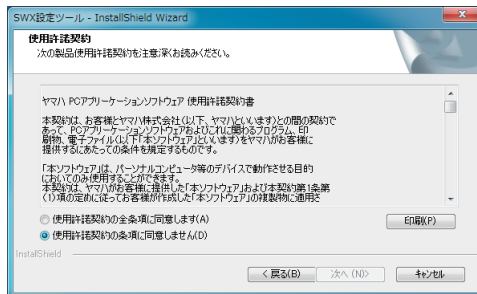


ヒント

インストーラを起動すると「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されます。「はい」または「続行」または「OK」をクリックするとインストーラが起動します。

2 「次へ」をクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。



3 使用許諾契約書に同意する場合は、「使用許諾契約の条項に同意します」をクリックして選んでから「次へ」をクリックする。

「インストール先の選択」画面が表示されます。

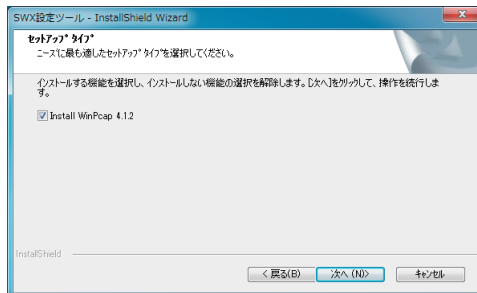
使用許諾契約書に同意しない場合は

「キャンセル」をクリックしてインストールを中止してください。

4 インストール先を指定してから、「次へ」をクリックする。

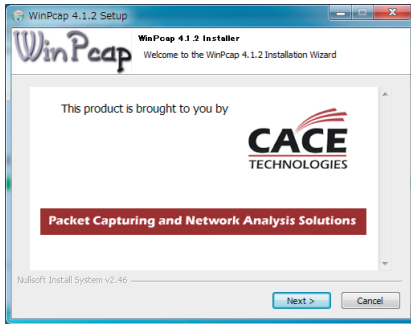
「セットアップタイプ」画面が表示されます。

5 「Install WinPcap 4.1.2」にチェックが付いていることを確認してから、「次へ」をクリックする。



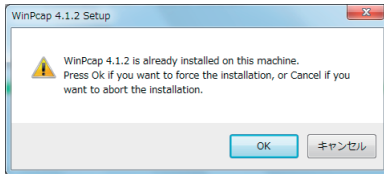
6 以後、画面の操作に従ってインストールを進める。

7 「WinPcap 4.1.2 Setup」画面が表示されたら、「Next」をクリックする。



ご注意

WinPcapがすでにインストールされている環境(Wiresharkなどをインストールした環境)では、以下の確認画面が表示される場合があります。「OK」をクリックして、操作を進めてください。



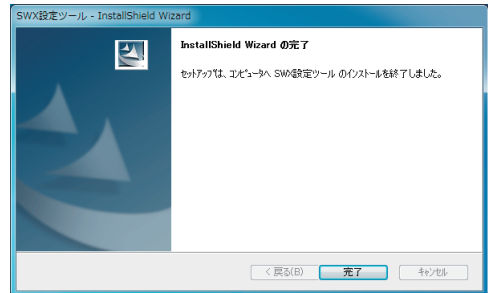
8 以後、画面の操作に従ってWinPcap 4.1.2のインストールを進める。

9 以下の画面が表示されたら、「Finish」をクリックする。

WinPcap 4.1.2のインストールが完了すると、以下の画面が表示されます。「Finish」をクリックしてWinPcap 4.1.2のインストール画面を閉じ、本製品のインストール画面に戻ります。



10 「完了」をクリックする。



インストール画面を閉じます。

本製品をインストールする(つづき)

本製品を削除する場合は (アンインストール)

本製品を削除するには、Windowsの標準の削除手順に従います。コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」を開きます。一覧から [SWX設定ツール] を選んでから、画面上部の「アンインストール」をクリックします。

ご注意

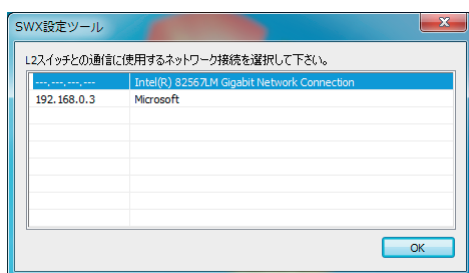
本製品を削除すると、その設定はすべて削除されます。

SWX2200に接続する

1 本製品をインストールしたPCとSWX2200シリーズをLANケーブルで接続する。

2 「スタート」メニューから、「SWX Application」を選ぶ。

本製品が起動して、SWX2200シリーズとの通信に使用するネットワーク選択画面が表示されます。



3 SWX2200シリーズとの通信に使用するネットワーク接続を選んでから、「OK」をクリックする。

「SWX設定ツール」画面が表示され、選んだネットワークに接続されているSWXシリーズが表示されます。

ご注意

WinPcapを使用する他のアプリケーション(Wiresharkなど)と併用すると、本製品が正しく動作しないことがあります。それらのアプリケーションを終了してから、本製品をご利用ください。

SWX2200の設定を変更する

本製品でできること

本製品は、ヤマハスマートL2スイッチSWX2200シリーズの設定や状態を、パーソナルコンピュータから直接変更・確認できるソフトウェアです。

状態表示

SWX2200シリーズの機器の状態やポートのリンク状態を表示します。

ポートごとの設定・表示

以下の設定項目について確認や変更ができます。

- 速度
- シャットダウン
- カウンタ
- ストレート/クロス自動判別
- フロー制御
- ポートミラーリング

VLAN

ポートVLANやマルチプルVLAN、タグVLANを設定できます。

省電力機能

SWX2200シリーズの省電力動作を設定できます。

ループ検出

SWX2200シリーズでループを検出した時の動作を設定できます。

操作

SWX2200シリーズを再起動したり工場出荷状態に戻すことができます。

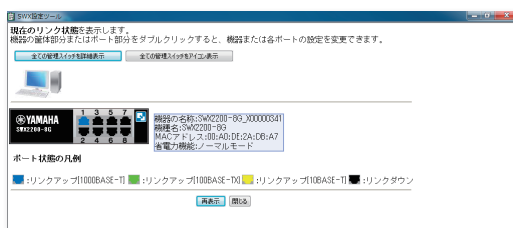
ご注意

本製品はヤマハSWX2200シリーズにのみ接続可能なソフトウェアです。

基本的な操作

「SWX設定ツール」画面で、設定対象となるSWX2200シリーズの設定画面を開き、設定を変更します。

設定を変更、または現在の状態を確認したいSWX2200シリーズのアイコンをクリックしてアイコンを拡大表示します。



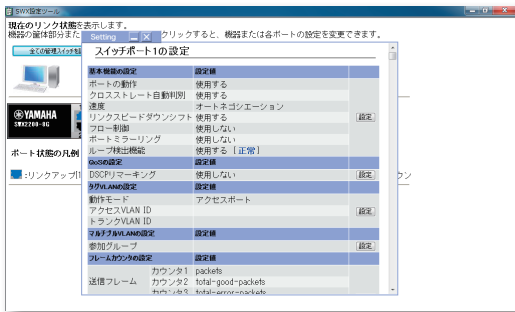
SWXシリーズの機器の設定を変更する

拡大表示されたアイコンの筐体部分をダブルクリックして、設定画面を開きます。



SWXシリーズの任意のポートの設定を変更する

拡大表示されたアイコンのポート部分をダブルクリックして、設定画面を開きます。



設定画面を閉じる

設定画面の閉じるボタンをクリックします。

ポートのリンク速度を変更する

リンク速度が固定されている機器との相互接続のため、特定のポートのリンク速度を固定できます。

- 1 設定を変更したいSWX2200シリーズのアイコンをクリックする。
- 2 リンク速度を固定したいポートをダブルクリックする。
選んだポートの設定画面が表示されます。
- 3 「基本機能の設定」欄の「設定」をクリックする。
「基本機能の設定」画面が表示されます。
- 4 「速度」欄でポートのリンク速度を選んでから、「設定」をクリックする。
確認画面が表示されます。
- 5 「設定の表示画面に戻る」をクリックする。
手順2で選んだポートの設定画面に戻ります。

SWX2200の設定を変更する(つづき)

使用しないポートをシャットダウンする

不正な接続を防ぐため、使用していないポートをシャットダウン設定できます。第三者がネットワーク機器を空きポートに接続しても、ネットワークにアクセスできないように設定する場合などに便利です。

- 1 設定を変更したいSWX2200シリーズのアイコンをクリックする。
- 2 シャットダウンしたいポートをダブルクリックする。
選んだポートの設定画面が表示されます。
- 3 「基本機能の設定」欄の「設定」をクリックする。
「基本機能の設定」画面が表示されます。
- 4 「ポートの動作」欄で「使用しない」を選んでから、「設定」をクリックする。
確認画面が表示されます。
- 5 「設定の表示画面に戻る」をクリックする。
手順2で選んだポートの設定画面に戻ります。

任意のポートの packets をキャプチャする (ポートミラーリング)

ネットワーク監視のために、任意にポートの packets をキャプチャできます。ポートミラーリングの対象とするSWX2200シリーズでポートミラーリングを有効にしてから、対象ポートを指定します。

1. ポートミラーリングを有効にする

ポートミラーリングを使用するには、ポートミラーリングの対象とするSWX2200シリーズで「ポートミラーリングの設定」を「使用する」に設定する必要があります。

- 1 設定を変更したいSWX2200シリーズのアイコンをクリックする。
- 2 アイコンの本体部分をダブルクリックする。
選んだスイッチの設定画面が表示されます。
- 3 「ポートミラーリング機能の設定」欄の「設定」をクリックする。
- 4 「使用する」を選んでから、「設定」をクリックする。
確認画面が表示されます。
- 5 「設定の表示画面に戻る」をクリックする。
手順2で選んだスイッチの設定画面に戻ります。

2. ポートミラーリングの対象ポートを指定する

任意のポートを被監視ポート／監視ポートのいずれに設定することもできます。

- 1 設定を変更したいSWX2200シリーズのアイコンをクリックする。
- 2 ポートミラーリングの対象とするポートをダブルクリックする。
選んだポートの設定画面が表示されます。
- 3 「基本機能の設定」欄の「設定」をクリックする。
「基本機能の設定」画面が表示されます。
- 4 「ポートミラーリング」欄で、ポートミラーリングの設定を選んでから、「設定」をクリックする。
 - 使用しない：ポートミラーリングを実行しません。
 - 監視ポート：現在のポートをポートミラーリングの監視ポート(被監視ポートの packets がキャプチャ・転送されるポート)として設定します。
 - 被監視ポート：現在のポートをポートミラーリングの被監視ポート(packets がキャプチャ・転送されるポート)として設定します。監視対象パケット(キャプチャ・転送対象となるパケット)として、受信／送信／送受信のいずれかを選んでください。確認画面が表示されます。
- 5 「設定の表示画面に戻る」をクリックする。
手順2で選んだポートの設定画面に戻ります。

ネットワークのセグメントを分割する(VLAN)

VLAN IDを変更する

- 1 設定を変更したいSWX2200シリーズのアイコンをクリックする。
- 2 アイコンの本体部分をダブルクリックする。
選んだスイッチの設定画面が表示されます。
- 3 「VLAN IDの設定」欄の「設定」をクリックする。
「VLAN IDの設定」画面が表示されます。
- 4 VLAN IDの設定を変更してから、「設定」をクリックする。
確認画面が表示されます。

VLAN IDを追加する

「追加」にチェックを付けてから、VLAN IDと名称を入力します。

VLAN IDを削除する

削除したいVLAN IDの「削除」にチェックを付けます。

VLAN IDの名称を変更する

名称を変更したいVLAN IDの「名前」欄の表示内容を修正します。

【注意】

VLAN IDの名称として使用できるのは、半角英数字のみです。

- 5 「設定の表示画面に戻る」をクリックする。
手順2で選んだスイッチの設定画面に戻ります。

SWX2200の設定を変更する(つづき)

タグVLANの設定を変更する

- 1 設定を変更したいSWX2200シリーズのアイコンをクリックする。
- 2 タグVLANの設定を変更するポートをダブルクリックする。
選んだポートの設定画面が表示されます。
- 3 「タグVLANの設定」欄の「設定」をクリックする。
「タグVLANの設定」画面が表示されます。
- 4 タグVLANの設定を選んでから、「設定」をクリックする。
確認画面が表示されます。

動作モード

- **アクセスポート**：現在のポートをアクセスポートとして使用します。
- **トランクポート**：現在のポートをトランクポートとして使用します。
- **ハイブリッドポート**：現在のポートをハイブリッドポートとして使用します。

アクセスVLAN ID

「動作モード」で「アクセスポート」または「ハイブリッドポート」を選んだ場合に、アクセスVLANのIDを選びます。

トランクVLAN ID

「動作モード」で「トランクポート」または「ハイブリッドポート」を選んだ場合に、トランクVLANのIDを選びます。

- 5 「設定の表示画面に戻る」をクリックする。
手順2で選んだポートの設定画面に戻ります。

マルチプルVLANを設定する

- 1 設定を変更したいSWX2200シリーズのアイコンをクリックする。
- 2 マルチプルVLANの設定を変更するポートをダブルクリックする。
選んだポートの設定画面が表示されます。
- 3 「マルチプルVLANの設定」欄の「設定」をクリックする。
「マルチプルVLANの設定」画面が表示されません。
- 4 現在のポートで利用できるようにするグループにチェックを付けてから、「設定」をクリックする。
確認画面が表示されます。
- 5 「設定の表示画面に戻る」をクリックする。
手順2で選んだポートの設定画面に戻ります。

ループ検出時の動作を設定する

- 1 設定を変更したいSWX2200シリーズのアイコンをクリックする。
- 2 アイコンの本体部分をダブルクリックする。
選んだスイッチの設定画面が表示されます。
- 3 「ループ検出機能の設定」欄の「設定」をクリックする。
「ループ検出機能の設定」画面が表示されます。
- 4 ループ検出機能の動作を指定してから、「設定」をクリックする。

MACアドレス移動回数閾値

ループ発生と判定する条件を、同一MACアドレスの移動回数で指定します。

ループ検出時の動作

- **ポートをシャットダウンして自動解除する：**
ループを検出したポートを自動的にシャットダウンして、設定された時間後にシャットダウンを解除します。時間は秒数で指定してください。ポート番号の大きいポートがシャットダウン対象に選ばれます。
なお、ポートのシャットダウンが解除された時点でループ接続が解消されていない場合は、再度ループを検出することになります。
- **ポートを自動シャットダウンしない：**ループを検出した状態で、そのままの動作を続けます。

💡 ヒント

SWX2200シリーズ本体の操作で、ループ検出状態を解除することもできます。詳しくは、SWX2200取扱説明書をご覧ください。

- 5 「設定の表示画面に戻る」をクリックする。

手順2で選んだスイッチの設定画面に戻ります。

外部ファイルを読み込んでスイッチの設定を変更する

SWX2200に設定したい内容をコマンド形式で記述したテキストファイルを読み込んで、SWX2200シリーズに反映させることができます。

- 1 **スイッチ制御PCのアイコンをダブルクリックする。**
「スイッチ制御機能の設定」画面が表示されます。
- 2 「スイッチの管理状態」欄の「読み込み」をクリックする。
「設定の読み込み」画面が表示されます。
- 3 「参照」をクリックして読み込みたいファイルを指定してから、「実行」をクリックする。
確認画面が表示され、読み込んだ設定が自動的にSWX2200シリーズに反映されます。

💡 ヒント

本製品での設定内容は、¥ProgramData ¥Yamaha ¥SWX_Applicationに保存されるconfig_swx.txtに保存されます。
このファイルの内容を、SWX2200シリーズを管理できるヤマハルーターのコンソールあるいはGUI設定画面の「コマンドの実行」画面からコマンドとして読み込ませることで、ヤマハルーターのあるネットワークでも同じ設定でSWX2200シリーズを運用することができます。

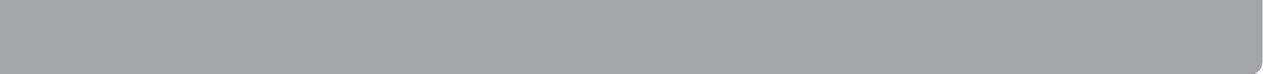
SWX2200の設定を変更する(つづき)

スイッチを初期化する

- 1 設定を変更したいSWX2200シリーズのアイコンをクリックする。
- 2 アイコンの本体部分をダブルクリックする。
選んだスイッチの設定画面が表示されます。
- 3 「スイッチ機器の特殊動作」-「工場出荷時の状態に戻す」欄の「実行」をクリックする。
確認画面が表示されます。
- 4 「OK」をクリックする。
スイッチの設定が初期化されます。

ヒント

SWX2200シリーズ本体から初期化することもできます。詳しくは、SWX2200取扱説明書をご覧ください。



●ヤマハルーターお客様相談センター

TEL 03-5651-1330

FAX 053-460-3489

ご相談受付時間

9:00~12:00、13:00~17:00

(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

お問い合わせページ

<http://NetVolante.jp/>

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>